

9/25 市内全小中学校の学校給食
アイヌ民族の伝統料理を提供



市内の学校給食に、アイヌ民族の伝統料理が登場しました。メニューは「ユッ（鹿肉）カツ」、「オハウ（サケ汁物）」、「チポエプ（カボチャなどの混ぜ煮）」、「いなきびごはん」で、末広小栄養教諭の山根 明子 先生が献立を作成し、千歳アイヌ協会の上野 亜由美さんが監修しました。市内の全小中学校の児童生徒、職員分にあたる約9,000食を、市内外の業者の協力を得て用意。「オハウ」には皮付きのサケも使用したほか、「ユッカツ」は120頭分の鹿肉を味付け肉に加工するなど、本物に近づける工夫が凝らされています。オハウがお気に入りという末広小5年の米谷 香蓮さんは、「食べながらアイヌの人たちの食文化を学べた。普段食べられないものを食べることができて嬉しかったし、これからも食べてみたい」と話しました。

9/21 9/22 秋の名物イベントが今年も開催
インディアン水車まつり



サケの遡上シーズンを迎え、今年も「インディアン水車まつり」が道の駅サーモンパーク千歳で開催されました。会場にはお祭りらしく出店が立ち並び、フードやドリンクを販売。アイヌ古式舞踊や丸太切りレースなどのステージイベントも充実し、多くの来場者で賑わいました。中でも人気を集めていたのが、2日間で9,000人以上が参加した釣り堀コーナー。レンタルの釣りざおとエサのイクラを手に、親子ら参加者がヤマメ釣りを楽しみました。札幌市から訪れ、8匹目のヤマメを釣り上げた小学3年生の白話 湊さんは「エサをたくさん付け替えて、いい調子で釣れました」と笑顔。「おばあちゃんの分も含めて81匹は釣りたい」と話していました。

8/31 9/1 千歳青葉 24 時間ウルトラトラックレース
己の限界に挑む鉄人たち



青葉陸上競技場を舞台に「千歳青葉 24 時間ウルトラトラックレース」が開催され、ランナー 34 人が参加しました。レース形式は、8月31日正午から翌日正午までの時間内にトラックを周回して走行距離を競うもので、給水はもちろんのこと、ラーメンやカレーなどの食事を用意し、24時間走り続けるためのサポートを提供しています。走行距離 254.0km という異次元の記録で優勝した田中 秀和さんは、24時間走への出場は今回で2回目。今大会に向けジョグをメインに距離重視の練習を積み、前回記録をおよそ 37km も更新しました。レース中の休憩時間を使って仲間からの激励メッセージに返信していたという田中さん。レースを終えて「応援してくれたみんなにありがとうございました」と話しました。



まちのできごと・マンスリーでお知らせします。

8/13 アンカレジ発 サプライズニュース
「千歳公園」が誕生



姉妹都市アンカレジ（米国アラスカ州）から、嬉しいニュースです。アンカレジ市内の「サンドレイク公園（Sand Lake Park）」が「千歳公園（Chitose Park）」に改名されました。この名称変更は、サンドレイク小学校の児童らがアンカレジ市議会に働きかけたことによるもので、6月に千歳を訪問したマイケルさん、アディソンさん、ステラさん、ランドンさん、アリアさんの5人が議会でプレゼンを行い、全会一致で可決されました。8月末には横田市長ら千歳市からの訪問団に、リニューアルした園銘板とともに千歳公園をお披露目しました。

9/11 がん予防の普及啓発を推進
新たに5社と連携協定



市は市内5社と「がん予防啓発推進に関する連携協定」を締結しました。連携協定は平成27年度から市内の企業と締結し、今年で10年目。これまでに38の団体と締結しています。今回新たに5社との協定締結を受け、横田市長は「がんに関する正しい知識を広めることと、がん検診の受診率を向上させることが重要な課題。そのための協力体制が構築できることを大変強く思っている」と話しました。

人のうごき

《総人口》
97,545人（-159）
男性 49,570人（-98）
女性 47,975人（-61）
《世帯》52,472世帯（-130）

（ ）内は、前月との比較です。

10-1 現在

広報ちとせからのお知らせ

広報ちとせの発行日は毎月10日です。この日までに届かないときは、次の番号にご連絡ください。なお、町内会に加入しているしていないを問いません。

広報広聴課 広報係
☎(24)0104 FAX(22)8851

百年物語 ちとせ空港
手づくりの着陸場から新千歳空港へ
開港100年の歴史を振り返る

Vol.18

世界へと羽ばたく「貴婦人」

「ニッポン」号が飛ぶ立つ列強国の包囲網への対抗手段とするため、海軍が急ピッチで工事を進めていた千歳航空基地。工事が最終段階に入った昭和14年8月、1機の飛行機が千歳飛行場から離陸しました。

飛行場黎明期に千歳を飛び立った飛行機のうち、「北海」第1号と並んで歴史に名を残している「ニッポン」号です。機体の鮮やかな銀色と細長いスマートな形状が特徴です。

この試みは日本の技術力の高さを世界に示すとともに、在外日本人を大いに勇気づけ、「ニッポン」号は寄港先の各地で熱烈な歓迎を受けました。

「ニッポン」号がアメリカを横断していた頃、ドイツがポーランドへの侵攻を開始します。第二次世界大戦の開戦です。

このため、当初立ち寄る予定だったパリ、ロンドン、ベルリンを回避し最短ルートでヨーロッパを離れ、中東、インドなどを通じて日本に帰り、世界一周を果たしました。

このときのアメリカ駐日大使ジョセフ・ゲルバーは、帰還した「ニッポン」号と乗組員をたたえて、「日本は、この大貢献を世界に誇示して可なり」との賛辞を送りました。

「ニッポン」号が飛ぶ立つ列強国の包囲網への対抗手段とするため、海軍が急ピッチで工事を進めていた千歳航空基地。工事が最終段階に入った昭和14年8月、1機の飛行機が千歳飛行場から離陸しました。

飛行場黎明期に千歳を飛び立った飛行機のうち、「北海」第1号と並んで歴史に名を残している「ニッポン」号です。機体の鮮やかな銀色と細長いスマートな形状が特徴です。

この試みは日本の技術力の高さを世界に示すとともに、在外日本人を大いに勇気づけ、「ニッポン」号は寄港先の各地で熱烈な歓迎を受けました。

「ニッポン」号がアメリカを横断していた頃、ドイツがポーランドへの侵攻を開始します。第二次世界大戦の開戦です。

このため、当初立ち寄る予定だったパリ、ロンドン、ベルリンを回避し最短ルートでヨーロッパを離れ、中東、インドなどを通じて日本に帰り、世界一周を果たしました。

このときのアメリカ駐日大使ジョセフ・ゲルバーは、帰還した「ニッポン」号と乗組員をたたえて、「日本は、この大貢献を世界に誇示して可なり」との賛辞を送りました。